

テーマ	本社工場会計				
学籍番号					氏 名

1. 次の取引につき、独立会計制度を採用している場合の本社と工場のそれぞれの仕訳を示しなさい。ただし、工場には原価計算に必要な勘定はすべて設定されているものとする。

(1) 本社は、当月の電力料 ￥200,000 を小切手を振り出して支払った。そのうち、3/4 は工場のものである。

	借方	貸方
本社	水道光熱費 50,000 工場 150,000	当座預金 200,000
工場	水道光熱費 150,000	本社 150,000

(2) 建物、機械などの減価償却費 ￥180,000 を計上した。うち 4/5 は工場のものである（間接法による）。

	借方	貸方
本社	減価償却費 36,000 工場 144,000	減価償却累計額 180,000
工場	減価償却費 144,000	工場 144,000

(3) 本社は、工場の建物・機械に対する固定資産税 ￥40,000 を現金で支払った。

	借方	貸方
本社	工場 40,000	現金 40,000
工場	租税公課 40,000	本社 40,000

(4) 製造間接費予定配賦額 ￥260,000 を各指図書に配賦した。

	借方	貸方
本社	仕訳なし	
工場	仕掛品 260,000	製造間接費 260,000

(5) 月末に、製造間接費配賦差異勘定の借方残高 ￥43,000 を本社に報告し、本社はこれを売上原価勘定に振り替えた。

	借方	貸方
本社	売上原価 43,000	工場 43,000
工場	本社 43,000	製造間接費配賦差異 43,000

授業の感想など	
---------	--